

7	
報告テーマ	歩行訓練プログラム 「遊歩倶楽部」 取組み
法人名・事業所名	社福) 奉優会 等々力の家デイホーム
報告者	太田好美

電 話	03-5752-0037	FAX	03-5752-0067
事業所紹介	等々力の家「特養併設型デイ」 等々力の家デイホームでは在宅生活を継続して頂く為、日常生活支援をモットーにサービスを提供させて頂いております。		

<p>【歩行訓練プログラム「遊歩倶楽部」の取組み】 キーワード：歩行訓練 他職種連携 通所介護</p> <p>《1. 問題と目的》</p> <p>平成21年3月に歩行訓練プログラム「遊歩倶楽部」を立ち上げて10年目。登録数役85名、一日数メートル歩くことを目指す方も、数キロを目標に歩いている方もいれば、歩き方がテーマの方もいらっしゃいます。参加目的は登録者一人一人さまざまですが、歩行訓練が在宅生活にどのように役立っているのかチームを作って取組み、「在宅生活サポートデイ」における歩行プログラムの可能性を考えました。</p> <p>《2. 方法》</p> <p>29年度の試みとして下記のテーマに沿った訓練により在宅生活が継続できることを成果と仮定しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設の大きさを活かした個別歩行訓練 ② 作品作りプログラムを通じた利用者様の関わり ③ お買い物プログラムを通じた生活リハビリ訓練 ④ 理学療法士という専門職を通じた個別訓練 ⑤ リハビリのノウハウを近隣住民に提供する地域貢献 <p>★対象者：歩行訓練目的別テーマより研究対象者として選定。</p> <p>★取組みの手順：目的の設定・訓練実施と記録・成果確認</p> <p>★取組み時間や期間：一回約20～30分、週1回～週4回（対象者により異なる）</p> <p>★取組んだ職員数や構成</p> <p style="padding-left: 20px;">訓練は全職員（介護職11人、看護師1人、理学療法士2人）にて実施</p> <p style="padding-left: 20px;">効果検証はチームにて実施（チーム員、生活相談員2、介護職2、理学療法士2）</p> <p>★活動の成果を出すポイントになった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行訓練継続の意欲向上施策 ⇒ 遊歩カード ⇒ 定期的な表彰式実施 ⇒ ホームページ活用 <p>《3. 結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例1：娘の結婚式でヒールを履いて一緒に歩きたい。 ⇒無事結婚式終了。転倒することなく結婚式に参加出来た。 ・事例2：生活動作の中での歩行訓練実施。理学療法士との関わり。 ⇒1人で出来なかったお買い物を継続して出来るようになった。 ・事例3：29年度実施している日曜事業（介護予防体操の実施） ⇒初回開催した介護予防体操で地域の方との交流が出来た。 <p>《4. 考察》</p> <p>この取組みにて活用した歩行訓練のテーマは研究対象者においては概ね達成したと考えます。今後は比較的重度のご利用者様にも同じような展開が出来、事業所として在宅生活サポートデイという大きな目標に向かって取組んでいます。</p>
--